

優秀賞

# うわぐつあらい

香川県 高松市立古高松小学校二年 竹内 寿織

ぼくは、うわぐつあらいが大好きです。どうしてかというと、まっ黒なうわぐつをゴシゴシこすって、どんどんきれいになっていくところを見ると、気持ちがいいからです。だからぼくは、おにいちゃんのうわぐつも、妹のうわぐつもあらいます。

きれいにあらうコツは、よごれがよくおちる石けんを古いハブラシにたっぷりつけて、カいっばいゴシこすることです。うわぐつでよごれやすいところは、まん中のひものところ。だけど、ここはひっぱりすぎるとビロビロにのびてしまうので、やさしくもってゴシゴシこします。あと、かかとのぶぶんもよごれやすいので、左手でおさえてまっすぐにして、カいっばいゴシゴシこします。つま先のゴムのぶぶんも黒くなっているので、ゴシゴシこします。あらっていると、せんめんきの中のお水がまっ黒になっていきます。ぼくは、それを見て

「こんなによごれてたんだなあ」と、いつもびっくりします。

小学生のぼくとおにいちゃんのうわぐつはいつもまっ黒だけど、ようちえんの妹のうわぐつは、あんまりよごれていません。なんでだろう、いつもふしぎに思います。でも、よごれていた方が、ぼくはやる気になります。

ぼくは、おちちよこちよいなので、時どきうわぐつをわすれて帰ることがあります。二しゅう間はいたうわぐつは、まっ黒けになってしまって、あらってもあらっても、なかなかきれいになってくれません。ぼくは、「わすれて帰らんかったらよかったなあ」と思いながら、いつもより力を入れて、ゴツシゴツシこします。それでも、いつものようにはきれいになりません。ぼくは、「もう、わすれて帰らんように、気をつけるぞ」と思いますが、やっぱり

りわすれてしまう時もあります。  
たまに、お母さんが、ぼくがあらうより先に、うわぐつをあらっていることがあります。お母さんがあらうと、ぼくよりもきれいになります。ぼくは、ちよっとくやしいです。ぼくよりもお母さんの方が、カもちだからだと思えます。ぼくは、お母さんよりもきれいにあらえるよう、くふうしながら、これからもうわぐつあらいをがんばろうと思えます。

